

議員提出議案第 23 号

武装強化された中国艦船の尖閣諸島周辺海域への領海侵入と「尖閣諸島は
中国固有の領土だ」との中国政府発言に対する抗議決議

このことについて、石垣市議会会議規則第 14 条第 1 項の規定により提出いたします。

令和 6 年 6 月 17 日

提出者	友 寄 永 三
賛成者	仲 間 均
〃	東内原 とも子
〃	長 山 家 康
〃	石 川 勇 作
〃	伊良部 和 摩
〃	登野城 このみ
〃	高 良 宗 矩

石垣市議会

議長 我喜屋 隆次 殿

理 由

中国海警局の武装強化された艦艇の領海侵入と中国政府の「尖閣諸島は中国の領土だ」との発言は断じて容認できるものではなく嚴重に抗議するため。

武装強化された中国艦船の尖閣諸島周辺海域への領海侵入と「尖閣諸島は中国固有の領土だ」との中国政府発言に対する抗議決議

6月7日石垣市の尖閣諸島周辺海域で、機関砲らしきものを搭載した中国艦船4隻が同時に領海に侵入した。海上保安本部によると中国海警局の船は4隻で航行する場合、4隻のうち1隻が砲らしきものを搭載しているケースが多いが今回のようにすべての船が砲を搭載し領海に侵入しているのが確認されたのは初めての事で、中国政府による尖閣諸島に対しての「力による現状変更」のステージが確実に上がり、今まで以上の武装強化の動きを見せた事に危機感を感じている。

尖閣諸島の沖合で中国海警局の船が日本の領海に侵入するのが確認されたのは5月25日以来で今年に入って17件目になり、接続海域に関しては、ほぼ毎日航行していて、連続航行日数は昨年12月22日から170日を超えて日本政府が尖閣諸島を国有化して以来最長の連続日数を更新し続けている。

林官房長官は今回の武装強化された中国艦船の領海侵入に対し「中国海警局に所属する船舶による領海侵入は国際法違反であり、外交ルートで厳重に抗議し、速やかに我が国の領海から退去するよう強く求めた。誠に遺憾で受け入れられない。引き続き緊張感を持って尖閣諸島周辺の警戒、監視に万全を尽くすとともに、中国側に対し冷静かつ毅然と対応していく」と述べたが、中国政府は、「尖閣諸島は中国固有の領土だと改めて主張した上で国家主権や安全保障、それに海洋権益を守る行動だ」と発言し、今後も日本領海への侵入を継続していく姿勢を見せた。

当市の行政区域である尖閣諸島は、歴史上も国際法上も我が国固有の領土であり我が国が有効に支配しており、本市及び我が国の漁業者が良好な漁場としている。よって、中国海警局の武装強化された艦艇の領海侵入と中国政府の「尖閣諸島は中国の領土だ」との発言は断じて容認できるものではなく厳重に抗議する。

以上、決議する。

令和6年6月17日

石 垣 市 議 会

宛先 中華人民共和国国家主席、中華人民共和国駐日日本国特命全権大使